

# にいがたのむかしにタイムスリップ！

## ～ 亀田郷と水 ～

まずはウォーミングアップ！



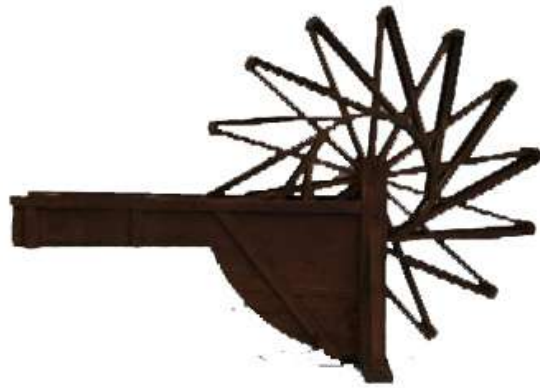
展示室に描かれている古い地図(正保国絵図)を見て、今とちがうと思ったことを書いてみよう。

- ・瀧がたくさんある
- ・阿賀野川と信濃川の河口がひとつにつながっている
- ・自分の知っているまたは住んでいる村の名前、地名がない

など

知っている地名はあるかな？  
さがしてみよう。

この道具は何だろう？



道具の名前  
**水車(みずぐるま)**

昔の人はこの道具を何のために使ったのでしょうか？

- ① 田んぼの水をきれいにするため
- ② 低い所の水を高い所に組み上げるため

2

亀田郷は、「地図にない湖」といわれたほど、すぐに水のたまる低い土地でした。その頃の田んぼは、水がこしの高さまであるような田んぼでした。

これは、昔の農作業に使われていました。道具の名前とその使い道を展示室の中から探してみましょう。



道具の名前  
**ヒルタビ**

ほかにもいろいろな道具があるよ。よくみてみよう。

何のために使ったの？  
**深田の農作業の時、チスイビルをさけるためにはいた**

展示「収穫の秋」をよく見てみよう。



- ①
- ②
- ③
- ④

これは、昔の亀田郷でのイネかりの様子です。

今の田んぼやいねかりの様子と何がちがっているだろう？

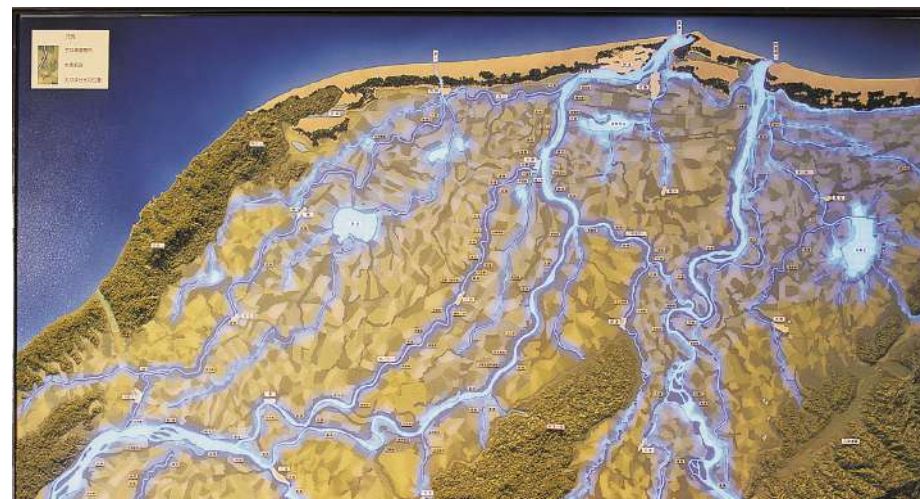
- ・稲刈りの時期なのに田んぼに水がある
- ・手で稲を刈っている
- ・舟で稲を運んでいる
- ・稲をハサ木に干してかわかしている

など

①～④の人は何をしているのでしょうか？

①	稲を刈っている
②	刈った稲を束ねている
③	稲を舟で運んでいる
④	稲をハサ木にかけている

新潟では、たびたび大水害がおきました。今から、100年ほど前に起きた「曾川切れ」といわれる水害で被害を受けたところをぬりつぶしてみましょう。



たび重なる水害をふせぐために、1922(大正11)年に大河津分水が完成しました。

● 大河津分水の場所を線でしめしてみよう。